

第13章 障害者福祉

1 障害者数の推移 (表1、図1) 【統計編 16-第1表、第6表、第11~12表】

県内の身体障害者、知的障害者及び精神障害者数は年々増加傾向にあり、令和3年度では、身体障害者が67,800人、知的障害者が16,200人、精神障害者が38,000人となっている。

表1 障害者数の推移

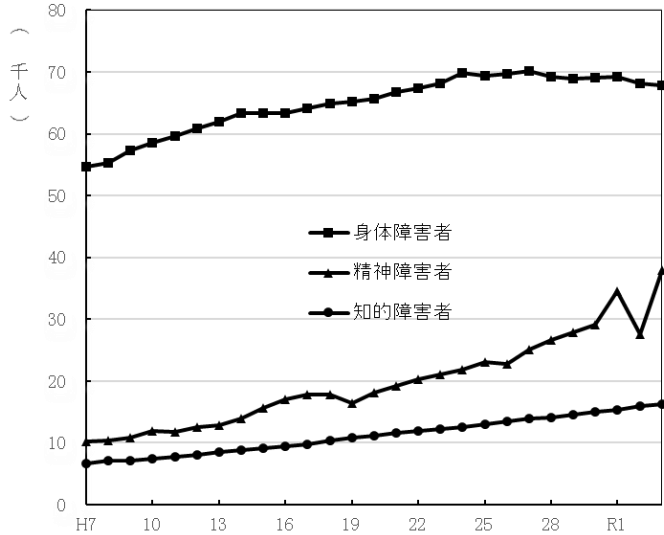
(単位:千人)

年次	身体	知的	精神
平成7	54.6	6.7	10.2
12	60.8	8.1	12.6
17	64.2	9.8	17.8
22	67.4	12.0	20.3
27	70.1	13.9	25.1
28	69.2	14.1	26.6
29	69.0	14.5	27.9
30	69.1	15.0	29.1
令和元	69.3	15.4	34.5
2	68.1	15.9	27.5
3	67.8	16.2	38

【出典】福祉行政報告例他

注) 身体障害者及び知的障害者は手帳交付台帳登録数、精神障害者数は通院者数(自立支援医療による通院医療費交付決定件数) + 在院患者数による推計数である。

図1 障害者数の推移



【出典】福祉行政報告例他

2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移 (表2、図2)

【統計編 16-第2表】

身体障害者手帳交付台帳登録数の総数は、令和3年度末現在で67,791件となっている。

内訳は、肢体不自由が32,048件(構成比47.3%)で最も多く、次に内部障害が23,906件(同35.3%)で続いている。

表2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数

(令和3年度末現在)

障害の種別	登録数 (割合(%))
肢体不自由	32,048 (47.3)
内部障害	23,906 (35.3)
聴覚・平衡機能障害	7,375 (10.9)
視覚障害	3,760 (5.5)
音声・言語・そしゃく機能障害	702 (1.0)
総数	67,791

【出典】福祉行政報告例

図2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移

